

平成26年1月10日
(公社)土木学会北海道支部

工学部系 学生の皆様

社会資本整備に関する施策の検討過程を見学できます。
～ 「冬期における津波災害対応・復旧支援方策検討会」のご案内 ～

この度、北海道開発局が主体となり、冬期の津波災害発生後の応急措置・緊急復旧のための資機材支援モデルを検討する、「冬期における津波災害対応・復旧支援方策検討会」が実施されることになりました。土木学会北海道支部は、本検討会に協力し、学生の皆様が施策立案の検討プロセスを直接見学できる機会を設けて頂きました。

この検討会は、工学部系の学生が見学しやすいよう、道内の大学構内で開催されます。また、検討会終了後、検討会に参加された学生の皆様から、各方面の専門家や、事務局である国、コンサルタント等、施策検討に携わるそれぞれの立場の方々への質問する時間が設けられます。

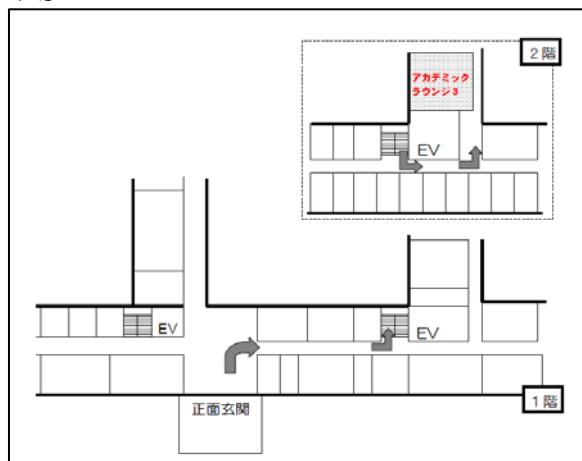
講義ではなく、施策検討の現場を見学できる貴重な場となっております。本検討会の見学をご希望の学生は、以下にてお申し込み下さい。

開催日時・場所

(第1回検討会)

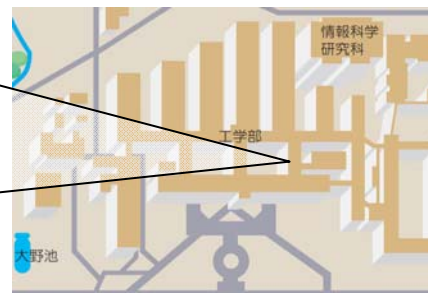
平成26年1月20日(月) 15:00～17:30

会場



北海道大学 工学部 B3棟2階
アカデミックラウンジ3

札幌市営地下鉄 南北線「北12条」駅
より徒歩7分



(第2回検討会)

未定

申込方法

別添にてお申し込みをお願いします。なお、見学できる人数には限りがありますので、見学の可否については、折り返しご連絡させていただきます。

(参考)

「冬期における津波災害対応・復旧支援方策検討会」について

【検討会開催の背景・目的】

- 雪氷期の津波災害は、早期復旧に重要な役割を果たすであろう、資機材にも相当程度被害を及ぼす事が想定されるが、津波対策の進捗状況や、発生する津波の規模によって被害状況は異なるため、稼働可能な機材の状況に応じた対応を事前に検討する等、どのような事態にも円滑な対応ができる備えが必要。
- 特に、北海道は、冬期間、内陸部からの資機材確保や支援に制約がある他、発災直後は、道外からの支援にも制約がある事から、被災地以外からどのような資機材支援（広域連携）が可能か、その手順等を事前に想定しておく事が必要。
⇒ 冬期の津波災害発生時に迅速な対応がとれるよう、交通工学や寒冷地工学などの専門家の参画の下、資機材支援方策等について検討。

【委員】

委員等	氏名	所属	職名
座長	高野 伸栄	北海道大学大学院 公共政策学連携研究部	准教授
委員	岸 邦宏	北海道大学大学院 工学研究院	准教授
//	笹島 隆彦	土木研究所寒地土木研究所 研究調整監付	上席研究員
専門委員	今井 秀明	北海道建設業協会	常務理事
//	小軽米 博	日本建設機械施工協会 北海道支部	企画部会委員
//	佐々木 和安	北海道建設機械レンタル協会	副会長
//	北村 茂	北海道建設機械レンタル協会	常任理事

【主な検討項目】

- 資機材の保有状況及び支援事例調査
- 資機材等の被災状況に応じた課題と対応方策の検討
- 地域における冬期津波対策の情報発信手法の検討

「冬期における津波災害対応・復旧支援方策検討会」第1回検討会

見学申し込み方法

◆FAXによる申し込み：本紙に必要事項を記入の上、011-709-9215 宛て送信願います。

◆電話による申し込み：011-709-2311（内線 5476） 担当 わたなべ 渡部 までご連絡願います。

申し込み期限 平成 26 年 1 月 17 日（金） 17:15 まで

ふりがな

氏 名 _____

所 属 _____

大 学 _____

学 部 _____

連絡先 _____

※連絡先は、電話番号、メールアドレスなどをご記入下さい。

申し込み先着順による受け付けになります。

席に限りがありますので、見学いただける方には、折り返し連絡を差し上げます。